

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名

放課後等デイサービス 楡の会あーち

○保護者評価実施期間

2025年 11月 4日

～

2025年 12月 19日

○保護者評価有効回答数

対象者数

11名

回答者数

9名

回答率

81.8%

○従業者評価実施期間

2025年 11月 21日

～

2025年 12月 19日

○従業者評価有効回答数

対象者数

6名

回答者数

6名

回答率

100.0%

○事業者向け自己評価表作成日

2026年 2月 20日

## ★分析結果

	事業所の強みだと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	更に充実を図るための取組等
1	お子さまにとって、安心できる場所、楽しみな場所となっていること	日々、打ち合わせや振り返りを行い、お子さんの様子を共有しています。その様子をふまえ、身体だけではなく、好きなことや得意なことを取り入れながら、個別にじっくりと取り組んで満足感を得られる活動や集団で楽しめる活動となるように考えています。また、お子さまが“わかってもらえた”と感じられるよう、そして安心できる場所となるような関わりを意識しています。	日々の打ち合わせや振り返りは継続し、お子さまの好きなことや得意なことの情報を得ながら、楽しい活動、“自分でできた”と感じられるような活動につながるよう、取り組んでいきます。また、お子さまや保護者の方の安心感につながるよう、お子さまとの関わりを大事にしていきたいと考えています。
2	お子さまに応じた支援	個々の特性を理解し、職員間で共有しながら個別支援計画に基づいた一人ひとりに合う支援を検討しています。	研修や勉強会に参加しながら職員間の共有を継続し、お子さまへの理解が深まりより良い支援につながるように取り組んでいきます。
3	保護者、学校、他事業所との情報共有	保護者の方との定期的な懇談や、相談があった場合にその都度お話をさせていただいています。また、学校と日々の様子について情報共有したり、他事業所と支援会議にて情報交換を行っています。そして、保護者の方や学校、他事業所のご理解、ご協力があって、事業が成り立っていると思っています。	定期的な懇談の他、保護者の方が相談しやすい雰囲気や環境づくりを行っていきます。学校や他事業所との情報交換、お子さまの様子について共有していくことを継続していきます。

	事業所の弱みだと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応を含む情報発信	定期的なおたよりで活動概要や行事予定の情報を発信、HPで事業内容や自己評価を公表、非常時等の対応については重要事項説明書で説明、おたよりにてお知らせをしていますが、周知不足であったと把握しました。	定期的なおたよりにて、様々な情報発信を継続していく中で、よりわかりやすい周知方法で工夫できることを考えていきたいと思えます。
2	保護者会や保護者の方同士の交流の機会	親子療育が保護者の方同士の交流できる機会となっていましたが、内容などの周知不足であったと考えます。	親子療育について、お子さまの活動以外にもご家族で交流ができる場となっていることの周知方法を検討していきます。

事業所名 放課後等デイサービス 楡の会あーち

公表日 2026年3月2日(月)

利用児童数 11名

回答数 9名

		はい	どちらとも 言えない	いいえ	知らない	ご意見
環境・ 体制整備	1	8	1	0	0	
	2	8	1	0	0	
	3	8	1	0	0	
	4	8	1	0	0	
適切な 支援の 提供	5	9	0	0	0	他の施設等の児童との交流はさほど必要としていない。
	6	9	0	0	0	
	7	8	0	0	1	
	8	9	0	0	0	

		はい	どちらとも言えない	いいえ	知らない	ご意見
9	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。※4；事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。	9	0	0	0	
10	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	0	1	6	2	

		はい	どちらとも 言えない	いいえ	知らない	ご意見	
保護者への説明等	11	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	1	0	0	
	12	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0	
	13	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※5等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 ※5；保護者が子どもの障害の特性やその特性を踏まえた子どもへの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容することを目標とします。	1	5	1	2	
	14	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	0	0	0	
	15	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0	
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0	
	17	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	1	2	
	18	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1	0	0	
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1	0	0	
	20	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	0	1	
21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	1		

		はい	どちらとも言えない	いいえ	知らない	ご意見
非常時等の対応	22	8	0	0	1	
	23	9	0	0	0	
	24	8	0	0	1	
	25	9	0	0	0	
満足度	26	9	0	0	0	安心して通えます！ 子供のことをよくみて理解してくれていると思います  家では出来ない遊びや活動が出来るところ。子供も楽しみにしていて感謝しています。
	27	9	0	0	0	
	28	9	0	0	0	

お子さまの発達や子育てのことで、同じようなお悩みがある方がいた場合、当事業を紹介したいと思いますか？

**5.1点** /6点満点

事業所名 放課後等デイサービス 楡の会あーち

公表日 2026年3月2日(月)

		はい	いいえ	工夫していることなど
環境・ 体制 整備	1	6	0	日々職員間で工夫を話しあっています。  体調を崩すと長引いてしまうお子さんが多いので、温度や湿度などの調整を心がけ、換気なども行っています。
	2	6	0	
	3	6	0	
	4	6	0	
	5	6	0	
業務 改善	6	6	0	業務は質問したり、疑問点など職員間で共有し話し合っています。  法人内研修や専門職による勉強会を行っています。
	7	6	0	
	8	6	0	
	9	6	0	
適切 な 支 援	10	6	0	季節を感じられる内容を活動に取り入れています。  日々の中でお子さんの様子を確認し合い、お子さんの様子をふまえた活動内容となるようにしています。
	11	6	0	
	12	6	0	
	13	6	0	
	14	6	0	
	15	6	0	

		はい	いいえ	工夫していることなど	
支援の提供	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	
	22	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	
	23	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6	0	
	24	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	
関係機関や保護者との連携	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	<p>学校の引き継ぎや保護者とお子さんの必要な情報を共有しています。</p> <p>コロナ禍よりできていなかった地域の方が参加できる秋まつりを開催しました。</p> <p>普段も公園に行くなど、地域の方と接することができる機会があります。</p>
	26	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	
	27	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	
	28	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	
	29	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	
	31	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	
	32	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	

		はい	いいえ	工夫していることなど
	34	6	0	
保護者への説明等	35	6	0	親子療育が保護者の方同士が交流できる機会となっています。 懇談を設け、お子さんや関係することについて保護者の方とお話ができる機会としています。また、保護者の方から相談があった場合には、その都度お話をしています。
	36	6	0	
	37	6	0	
	38	6	0	
	39	6	0	
	40	6	0	
	41	6	0	
	42	6	0	
	43	6	0	
	44	6	0	
非常時等の	45	6	0	研修や職員会議、保護者との連絡内容を職員間で共有しています。 BCP計画の作成や避難訓練の実施などを行っています。避難訓練については予定をお知らせし、実施後にもお知らせしています。
	46	6	0	
	47	6	0	
	48	6	0	
	49	6	0	

		はい	いいえ	工夫していることなど
対応	50	6	0	
	51	6	0	
	52	6	0	
	53	6	0	

50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。

51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。

52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。

53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。